

2020年度 (2021年3月期) 第1四半期 決算説明会

2020年 7月 31日
セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

年号：断りが無い限り、会計年度を示す

- ご説明のポイント
- 第1期四半期実績
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- ESGトピックス

■ 第1四半期実績

- 売上収益 : 1,932億円 (対前年同期 564億円減収)
- 事業利益 : 43億円 (対前年同期 1億円減益)
 - COVID-19影響により、売上収益は、大部分の商品で需要減少し大幅減収
 - 事業利益は、減収影響の一方で、SOHO・ホーム向けインク売上増加や費用抑制・削減に加え、在庫増加などの一時的な利益増加影響により前年同期並み

■ 通期業績予想

- 売上収益 : 9,300億円 (対前期 1,136億円減収)
- 事業利益 : 200億円 (対前期 208億円減益)
 - 売上収益は、徐々に回復を見込むが、下期も前年同期を下回る
 - 在庫増減影響は第2四半期以降で事業利益の減少要因

■ 株主還元

- 配当予想 : 1株当たり62円 (2019年度と同額)

- ご説明のポイント
- **第1期四半期実績**
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- ESGトピックス

2020年度 第1四半期決算 | ハイライト

	2019年度		2020年度		対前年同期		
	(億円)	1Q実績	%	1Q実績	%	増減額	増減率
売上収益		2,496		1,932		-564	-22.6%
事業利益		45	1.8%	43	2.3%	-1	-3.2%
営業利益		34	1.4%	20	1.1%	-13	-40.1%
税引前利益		28	1.1%	11	0.6%	-17	-59.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		2	0.1%	-2	-0.1%	-4	-
EPS ^{*1} (円)		0.71		-0.71			
為替レート (円、指数)	USD	¥109.93		¥107.54			
	EUR	¥123.54		¥118.39			
	その他通貨 ^{*2}	100		88			

*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて
加重平均した値について、前年同期を100とした指数

	前年同期に対する 為替影響額 (億円)				合計
	USD	EUR	その他 通貨合計		
売上収益	-14	-14	-45	-74	
事業利益	+2	-9	-20	-27	

■ 売上収益

- 需要減少や生産制約影響により、前年同期に対して大幅な減収

■ 事業利益

- 減収影響はあるが、在宅需要拡大に伴うIJPインクの増加や、費用減などに加え、在庫増加に伴う利益増加影響などにより前年同期並み
- 在庫増減影響は、第2四半期以降の事業利益減少要因

- 大部分の事業・商品で需要は大きく減少
 - 一方で、IJP（SOHO・ホーム向け、大容量インクタンクモデル）は在宅需要が継続
- 生産制約により、供給不足が発生
 - フィリピン・インドネシア・マレーシアの工場は、4月以降段階的に操業回復、6月末に稼働正常化したが、販売に制約発生

主な事業・商品	影響を受けた主な地域・内容
SOHO・ホーム向け I/Cモデル	(+)在宅需要が継続。インク売上収益は、北米、欧州などで前年同期を大きく上回り、日本で前年同期並みとなる (-) 本体は、需要増も、生産制約による供給不足が発生
大容量インクタンクモデル	(-) エマージング地域では需要減少。中国・北米、欧州では需要増加も、一部に供給不足
オフィス共有IJP	(-) 本体売上収益が前年同期並みにとどまり、インク販売も減少
商業・産業IJP	(-) ラベル用途を除き、完成品ビジネス・プリントヘッド外販ビジネスで需要減少
SIDM・小型プリンター・ウオッチなど	(-) 各地で需要が大きく減少
プロジェクター	(-) 各地で需要が大きく減少。一部商品は生産制約による供給不足も発生
マイクロデバイス他	(-) 需要回復が続く中で、水晶デバイスで生産制約による供給不足が発生
ロボット	(-) 欧州の自動車関連顧客向け需要が停滞
合計	売上収益に約530億円程度のマイナス影響（需要減少に加え、生産制約など）

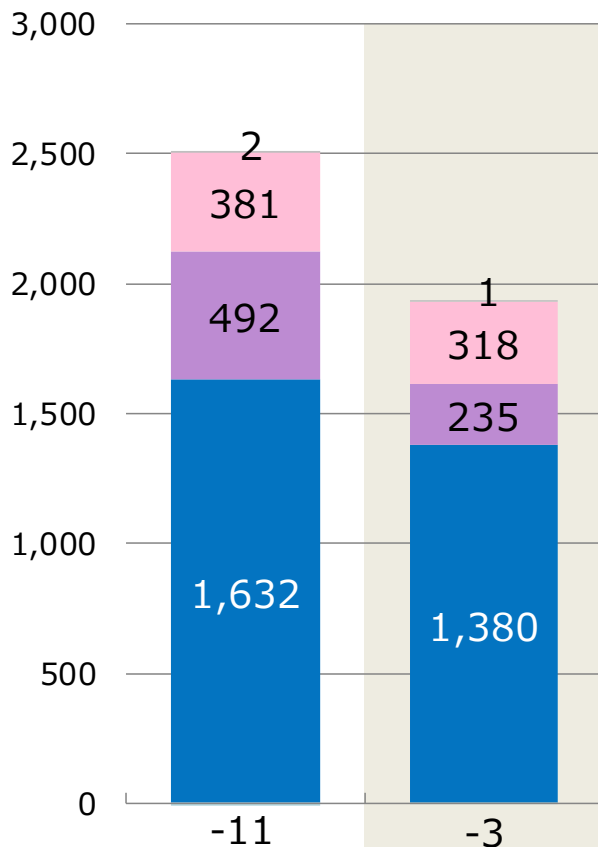
2020年度 第1四半期実績 | 事業セグメント別

四半期売上収益

(億円)

2,496

1,932



FY2019
1Q実績

FY2020
1Q実績

連結合計

対前年同期 -564

その他

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前年同期 -63

ビジュアル
コミュニケーション

対前年同期 -256

プリンティング
ソリューションズ

対前年同期 -251

全社費用・調整額

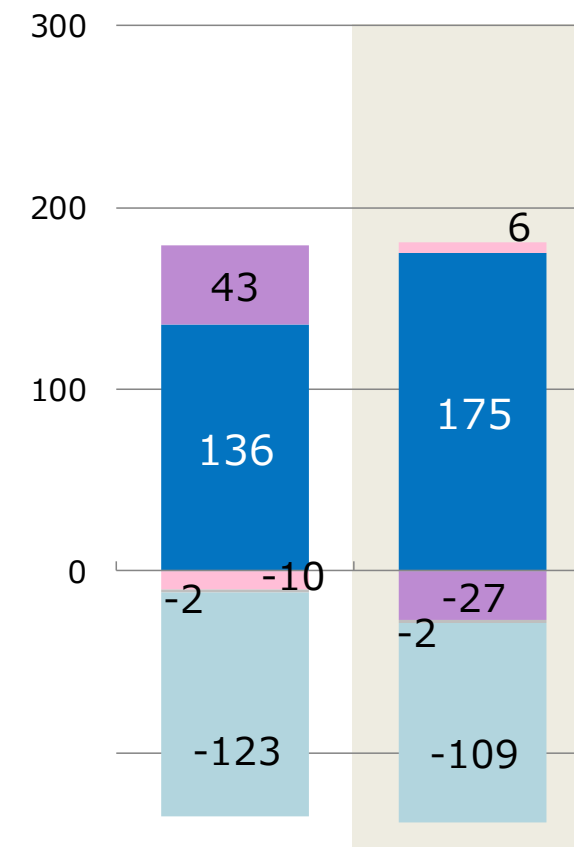
対前年同期 +7

四半期事業利益

(億円)

45

43



FY2019
1Q実績

FY2020
1Q実績

連結合計

対前年同期 -1

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前年同期 +16

プリンティング
ソリューションズ

対前年同期 +38

ビジュアル
コミュニケーション

対前年同期 -71

その他

全社費用・調整額

対前年同期 +14

(億円)

プリンティングソリューションズ	2019年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	対 前年同期	為替 影響額
売上収益	1,632	1,380	-251	-58
プリンター	1,081	1,023	-57	
構成比 オフィス・ホームIJP ^{*1}	82%	87%		
SIDM	8%	5%		
その他	10%	8%		
プロフェッショナルプリンティング	492	319	-173	
構成比 商業・産業IJP ^{*2}	63%	66%		
小型プリンター他	37%	34%		
その他	58	37	-21	
事業間売上収益	-0	-0	-0	
セグメント利益	136	175	+38	-24
セグメント利益率	8.4%	12.7%		

プリンター事業

- ◆ オフィス・ホームIJP
 - ・大容量インクタンクモデル
販売数量減少
 - ・SOHO・ホーム向け
I/Cモデル本体が供給不足により
減少となるが、インクは増加
 - ・オフィス共有IJPはインク販売減少

◆ SIDM

- ・中国中心に各地で販売減少

プロフェッショナルプリンティング事業

◆ 商業・産業IJP

- ・完成品ビジネス
ラベル分野向けを除き販売減少
- ・プリントヘッド外販ビジネス
既存顧客向け中心に販売減少

◆ 小型プリンター

- ・各地で販売が減少

◆ その他

- ・OS切り替えに伴うPC増加があった
前年同期からは販売減少

◆ 主要製品の販売動向(社内管理値に基づく指標) FY20/1Q実績

製品	項目	YoY伸張率	円貨	現地通貨
オフィス・ホームIJP 本体	売上収益	YoY伸張率	-14%	-8%
	販売数量	YoY伸長率		-17%
オフィス・ホームIJP インク	売上収益	YoY伸長率	+15%	+19%
			FY19/1Q	FY20/1Q
オフィス・ホームIJP内 オフィス共有IJP ^{*3}	売上収益	構成比 ^{*4}	10%	9%

- *1 オフィス・ホームIJP：大容量インクタンク、SOHO・ホーム、オフィス共有IJPを含む
- *2 商業・産業IJP：商業・産業用途向け大判インクジェットプリンター、プリントヘッド外販ビジネスを含む
- *3 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンターI/Cモデル、RIPS、LIJの本体・インク、スマートチャージなどの課金や有償サービスを含む
- *4 FY20の商品区分変更に伴い、FY19を遡及修正

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2019年度 1Q実績	2020年度 1Q実績
売上収益	492	235
セグメント利益	43	-27
セグメント利益率	8.9%	-11.8%

対 前年同期	為替 影響額
-256	-9
-71	-2

- ◆ プロジェクター
FPDの低価格化影響、
COVID-19影響により需要が
大きく減退し、販売減少

◆ プロジェクターの販売動向
(社内管理値に基づく指標)

FY20/1Q実績

本体	売上収益	YoY伸長率	円貨	現地通貨
			-52%	-50%
本体	販売数量	YoY伸長率	-57%	

(億円)

ウェアラブル・産業プロダクツ	2019年度 1Q実績	2020年度 1Q実績
売上収益	381	318
ウェアラブル機器	112	53
ロボティクスソリューションズ	49	66
マイクロデバイス他	234	204
事業間売上収益	-15	-6
セグメント利益	-10	6
セグメント利益率	-2.7%	2.1%

対 前年同期	為替 影響額
-63	-6
-58	
+16	
-29	
+9	
+16	-0

ウェアラブル機器

- ◆ 市況悪化により販売減少

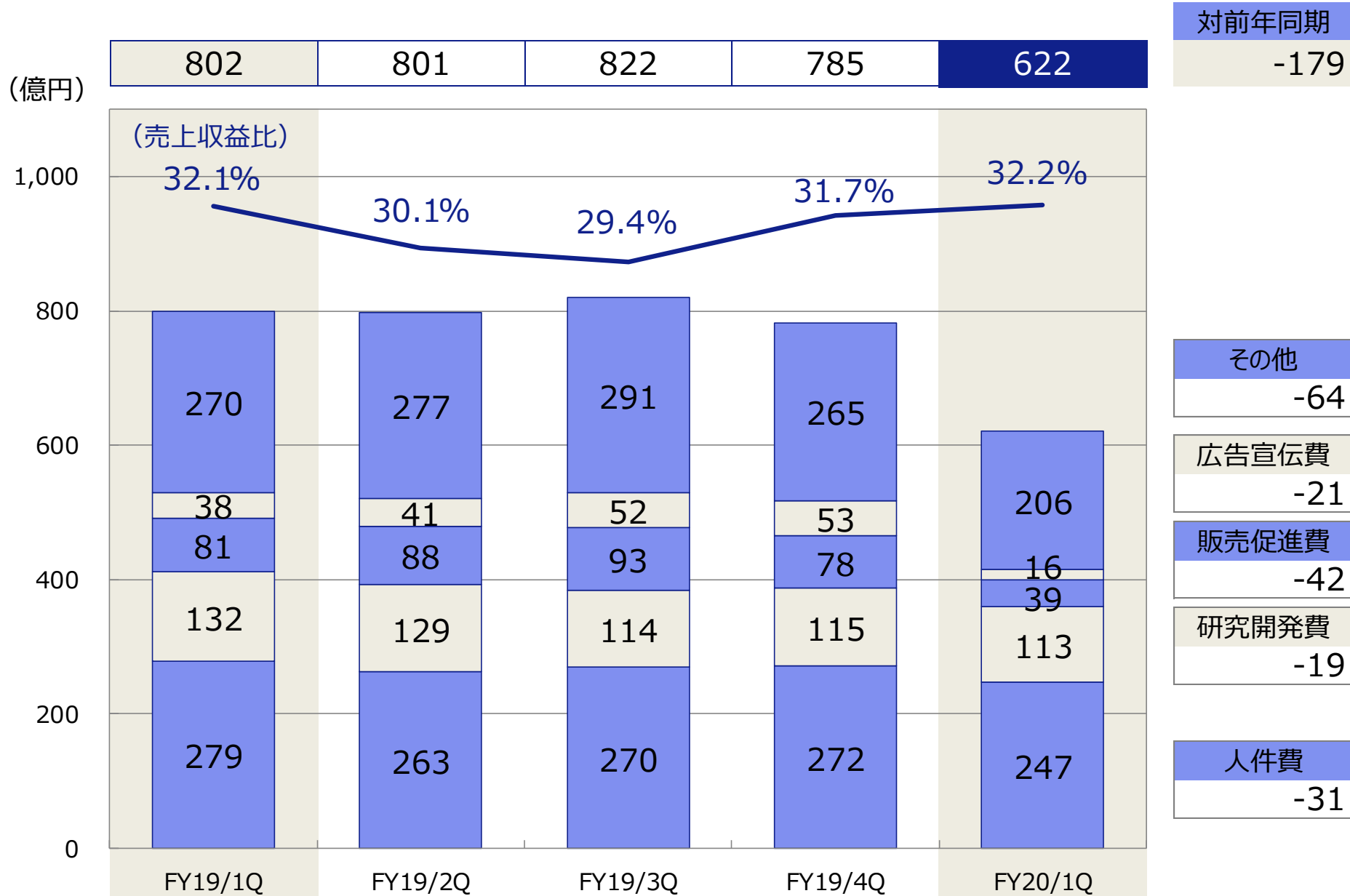
ロボティクスソリューションズ

- ◆ 欧州で販売減少も
中国向け中心に販売増加

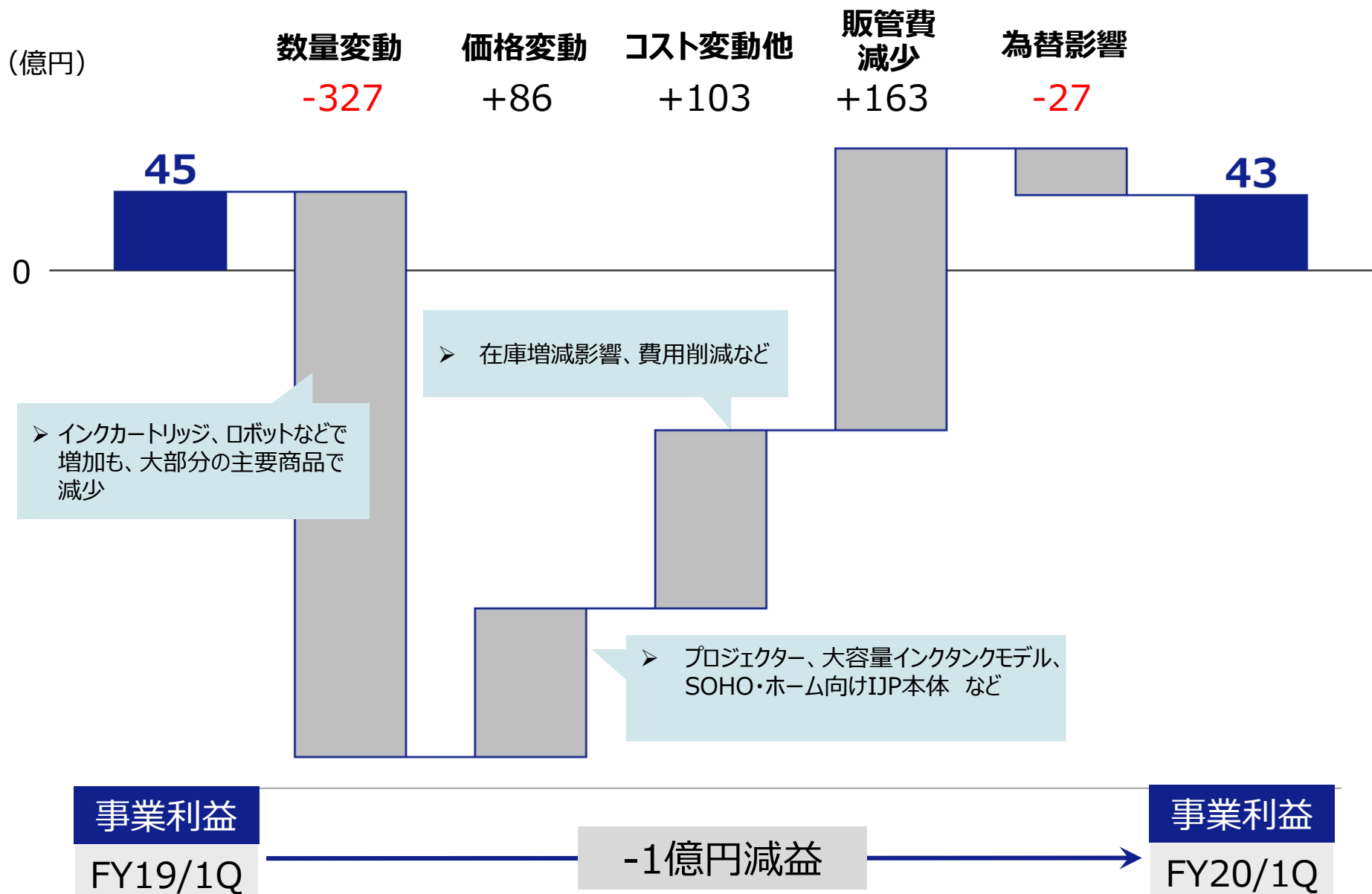
マイクロデバイス他

- ◆ 水晶デバイスは需要回復基調の中
生産制約による供給不足で減収
- ◆ 半導体はファンドリで販売堅調も
内需向けが減少し減収

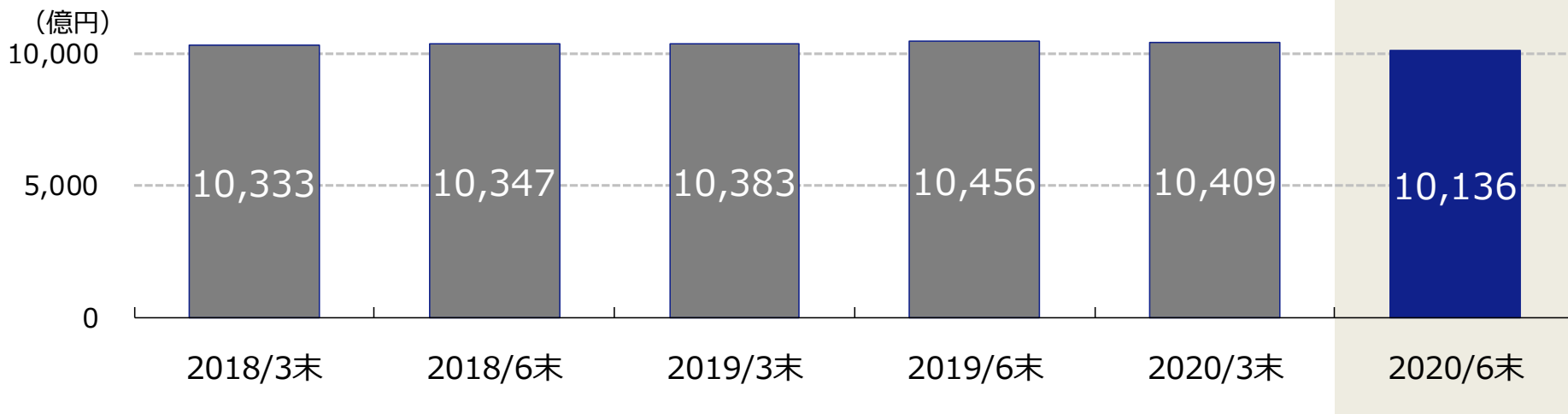
販売費および一般管理費 主要科目別推移



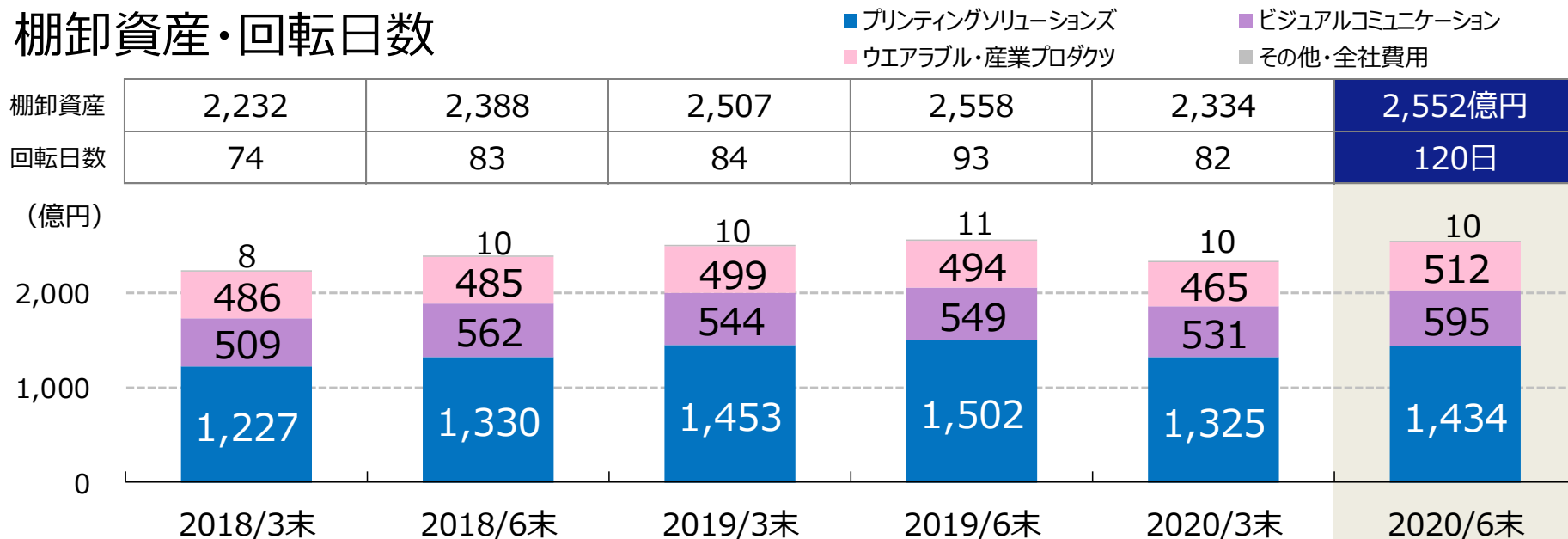
2020年度 第1四半期実績 | 事業利益増減要因分析



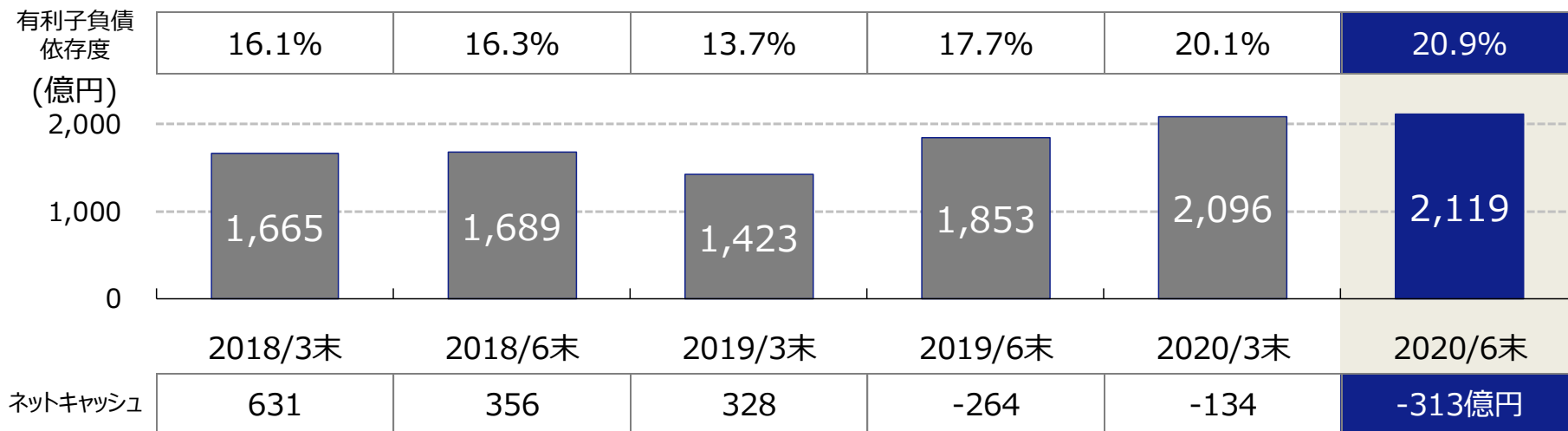
資産合計



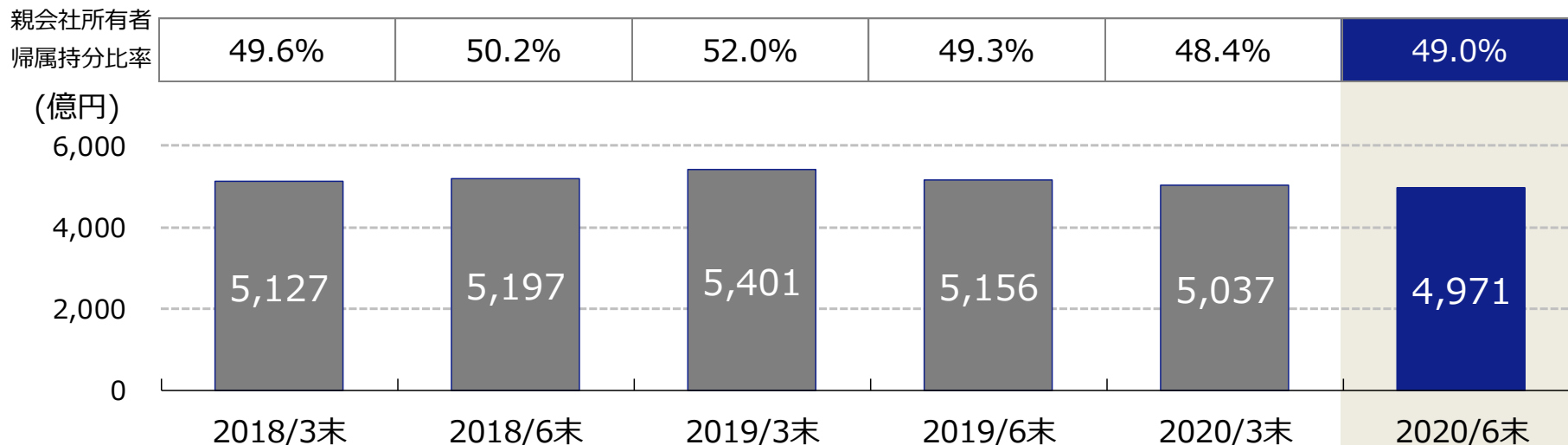
棚卸資産・回転日数



有利子負債・有利子負債依存度、ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者帰属持分比率



- ご説明のポイント
- 第1期四半期実績
- **2020年度通期業績予想**
- 株主還元
- ESGトピックス

- 売上収益は、戦略商品の投入効果が見込まれるが、地域によって COVID-19 影響からの回復に遅れがあり、下期も前年同期を下回る

【各国の移動規制の前提】

	6月	7~9月	10~12月	1~3月
日本	自粛	規制解除		
北米	自粛			
西欧・豪州	自粛		規制解除	
中国	規制解除			
中南米、東欧、アフリカ、 東南アジア・南アジア	規制	自粛	規制解除	

- 生産は、6月末に平常化したがる、輸送リードタイム影響により第2四半期以降も一部商品で供給不足
- 第2四半期以降の在庫減少は、事業利益減少要因
- COVID-19による影響は、売上収益で1,400億円程度のマイナス

2020年度 通期業績予想 | ハイライト

	2019年度		2020年度		対前期		
	(億円)	実績	%	予想	%	増減比	増減比
売上収益		10,436		9,300		-1,136	-10.9%
事業利益		408	3.9%	200	2.2%	-208	-51.1%
営業利益		394	3.8%	160	1.7%	-234	-59.5%
税引前利益		397	3.8%	140	1.5%	-257	-64.7%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		77	0.7%	10	0.1%	-67	-87.1%
EPS* ¹ (円)		22.26		2.89			
為替レート (円、指数)	USD	¥108.74		¥106.00			
	EUR	¥120.85		¥118.00			
	その他通貨* ²	100		90			

第2四半期以降の 為替前提(円)	USD	EUR	為替感応度* ³	USD	EUR	その他通貨合計
	105.00	118.00	売上収益	△27	△13	△27
			事業利益	+7	△8	△12

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前期を100とした指数

*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額（億円）、その他通貨は1%の円高による年間影響額（億円）

■ 厳しい事業環境を認識し、以下の施策を実施

- 徹底した費用抑制を実施し、販管費などの費用は19年度から更に削減
- 強化領域へ経営資源をアロケーション
 - 商業・産業IJP（完成品ビジネス・プリントヘッド外販ビジネス）、オフィス共有IJP、ロボティクスソリューションズ事業、高光束プロジェクターなど
- 環境変化への財務対応
 - コミットメントライン契約締結(約800億円)
 - グリーンボンド発行（700億円）

- New Normal を見据えた戦略の再確認
- Epson 25・第2期中計等の目指すべき方向性に変更は無いが、イノベーション実現に向けてはさらなる加速の必要性を認識
 - 事業戦略の検証を実施中
 - ✓ 新たな商品・サービスの提供やビジネスモデル変革の機会
 - BCM観点で拠点戦略・BCPを再検討
 - ✓ 戦略商品の複数拠点・分散生産、省人化・自動化を加速
 - 業務プロセス改革の推進
 - ✓ リモートワークの制度化、遠隔地量産立ち上げ支援・販売支援の確立

オフィス・ホームIJP/商業・産業IJP

前提

- 在宅需要は下期に落ち着きを見せるが、一定程度継続
- 大容量インクタンクモデルのエマージング地域での需要は下期回復
- 商業・産業IJP需要は、経済活動再開に合わせ下期回復



取り組み

- 供給制約の中、需要に最大限対応
- 在宅需要はIJPの特長訴求の機会・成長機会
- オフィス共有IJPでの販売拡大を継続
- 商業・産業IJPの完成品ビジネスは、分散印刷需要拡大に備えたラインアップ拡大、ソリューション提案・顧客接点強化を進める
- プリントヘッド外販は、中国などの新規顧客向け商談を確実に受注につなげる



プロジェクター

前提

- プロジェクター市場は、下期にCOVID-19影響緩和も、FPD影響が継続

取り組み

- 高い市場プレゼンスを生かし、市場シェア拡大
- FY21以降も市場縮小を想定し戦略の再検討を実施
- 採算改善施策を強力に進める
 - 高光束領域への注力、他領域での効率化
 - 総原価低減、固定費削減、要員構造の適正化



ウェアラブル機器

前提

- ウォッチ市場は引き続き厳しい環境が継続

取り組み

- 総原価低減、固定費削減、要員構造の適正化



ロボティクスソリューションズ

マイクロデバイス他

前提

- ロボットやマイクロデバイスの市場は安定的に推移

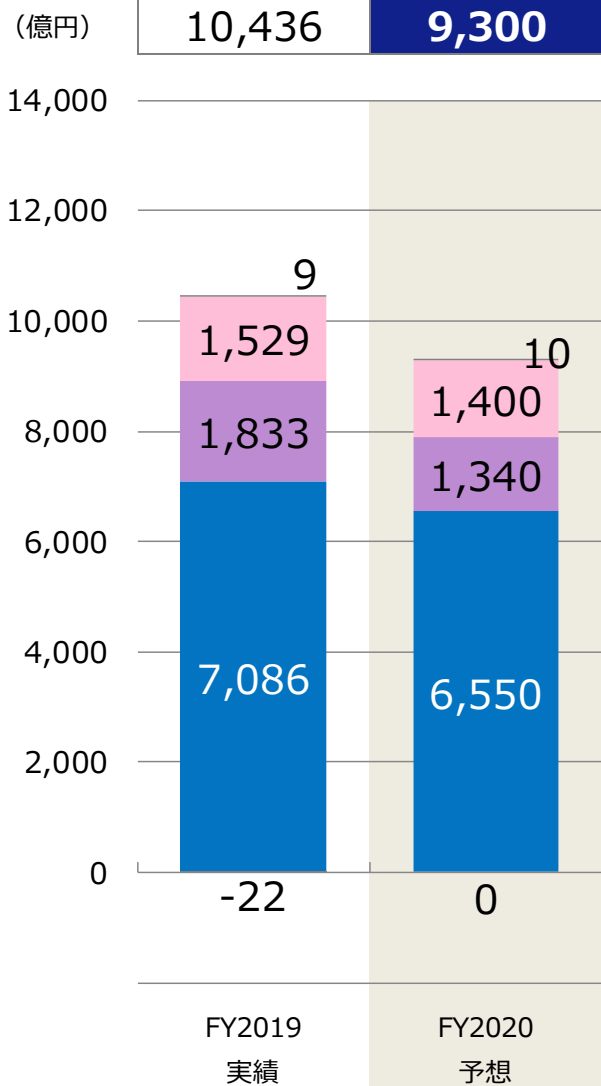
取り組み

- ロボティクスソリューションズは、経営資源の投下を継続し、省人化・自動化の加速を捉える
- マイクロデバイス他は、生産性向上による利益創出活動を継続



2020年度 通期業績予想 | 事業セグメント別

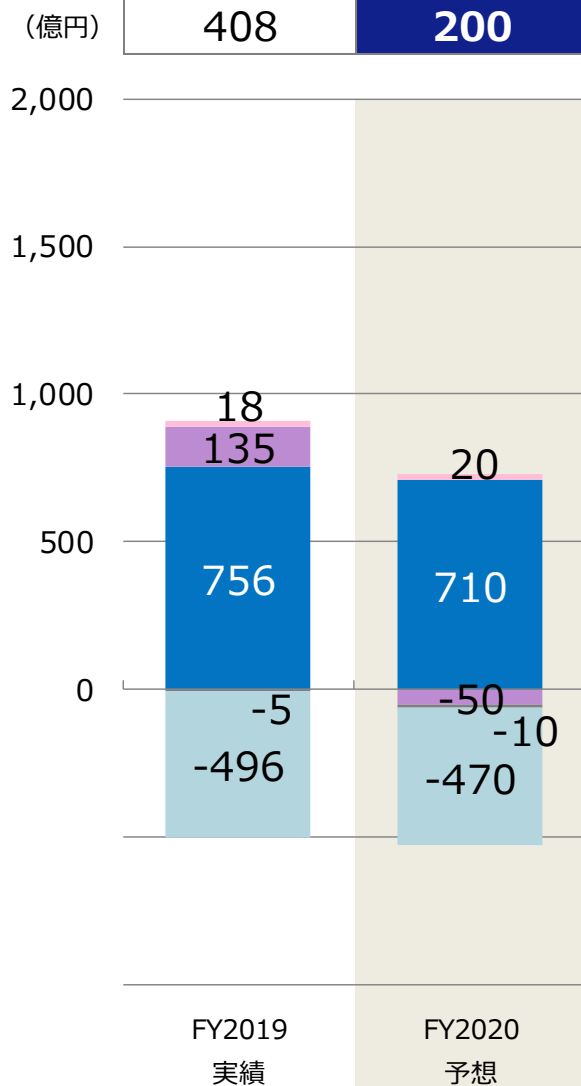
通期売上収益



連結合計

対前期 -1,136

通期事業利益



連結合計

対前期 -208

プリンティングソリューションズ	2019年度 実績	2020年度 予想	(億円) 対前期
売上収益	7,086	6,550	-536
プリンター	4,825	4,680	-145
構成比 オフィス・ホームIJP*1	84%	86%	
SIDM	7%	5%	
その他	9%	9%	
プロフェッショナルプリンティング	1,979	1,680	-299
構成比 商業・産業IJP*2	64%	67%	
小型プリンター他	36%	33%	
その他	282	190	-92
事業間売上収益	-1	0	+1
セグメント利益	756	710	-46
セグメント利益率	10.7%	10.8%	

◆ 販売動向 (社内管理値に基づく指標)		FY19 実績	FY20 予想
オフィス・ホームIJP	伸長率	+1%	-6%
本体販売数量	約、万台	1,570	1,470
内 大容量インクタンクモデル		1,000	960
内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル		530	480
内 オフィス共有IJP		40	30
オフィス・ホームIJP	(円貨)	-8%	-0%
インク売上収益伸長率	(現地通貨)	-5%	-
オフィス・ホームIJP内 オフィス共有IJP*3売上収益比率*4		10%	11%

プリンター事業

- ◆ オフィス・ホームIJP
 - ・SOHO・ホーム向けは、先進国中心にインク販売が増加
 - ・大容量インクタンクモデルは、エマージング地域中心にCOVID-19影響を受け販売減少
 - ・オフィス共有IJPは、厳しい市場環境の中、着実に販売拡大

- ◆ SIDMは中国中心に販売減少

プロフェッショナルプリンティング

- ◆ 商業・産業IJP
 - ・完成品ビジネスは、厳しい外部環境影響により販売減少
 - ・ヘッド外販ビジネスは、新規顧客の増加の一方で、既存顧客向けで減少

- ◆ 小型プリンター
 - ・先進国中心に需要減少

その他

- ◆ PC販売特需が収束

- *1 オフィス・ホームIJP：大容量インクタンク、SOHO・ホーム向け、オフィス共有IJPを含む
- *2 商業・産業IJP：商業・産業用途向け大判インクジェットプリンター、プリントヘッド外販ビジネスを含む
- *3 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンターI/Cモデル、RIPS、LIJの本体・インク、スマートチャージなどの課金や有償サービスを含む
- *4 FY20の商品区分変更に伴い、FY19を遡及修正

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2019年度 実績	2020年度 予想
売上収益	1,833	1,340
セグメント利益	135	-50
セグメント利益率	7.4%	-3.7%

対前期
-493
-185

ビジュアルコミュニケーション

- ◆ プロジェクター
 - COVID-19影響に加え、FPD影響により市場縮小 (YoY▲35%程度)
 - 市場でのプレゼンス向上を進める

◆ プロジェクターの販売動向 (社内管理値に基づく指標)

		FY19 実績	FY20 予想
本体 販売数量	伸長率	-9%	-31%
	約、万台	240	160

(億円)

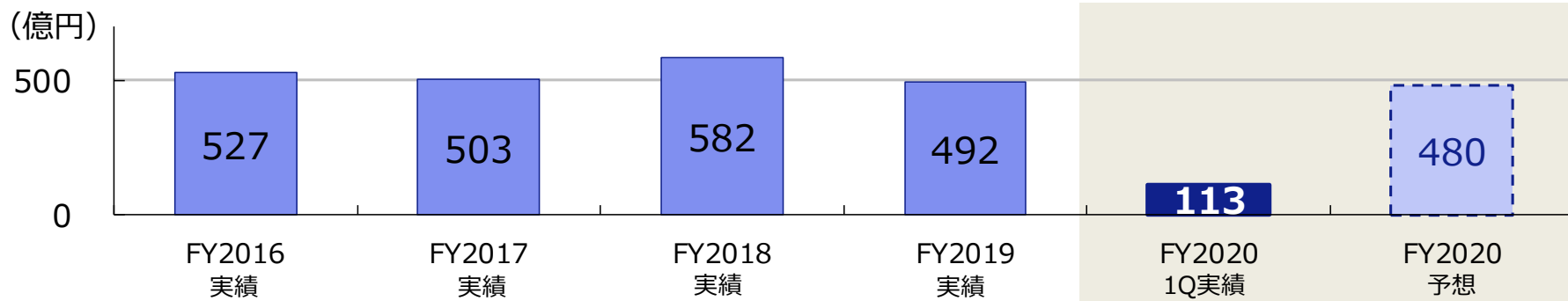
ウェアラブル・産業プロダクツ	2019年度 実績	2020年度 予想
売上収益	1,529	1,400
ウェアラブル機器	440	310
ロボティクスソリューションズ	212	220
マイクロデバイス他	929	900
事業間売上収益	-53	-30
セグメント利益	18	20
セグメント利益率	1.2%	1.4%

対前期
-129
-130
+7
-29
+23
+1

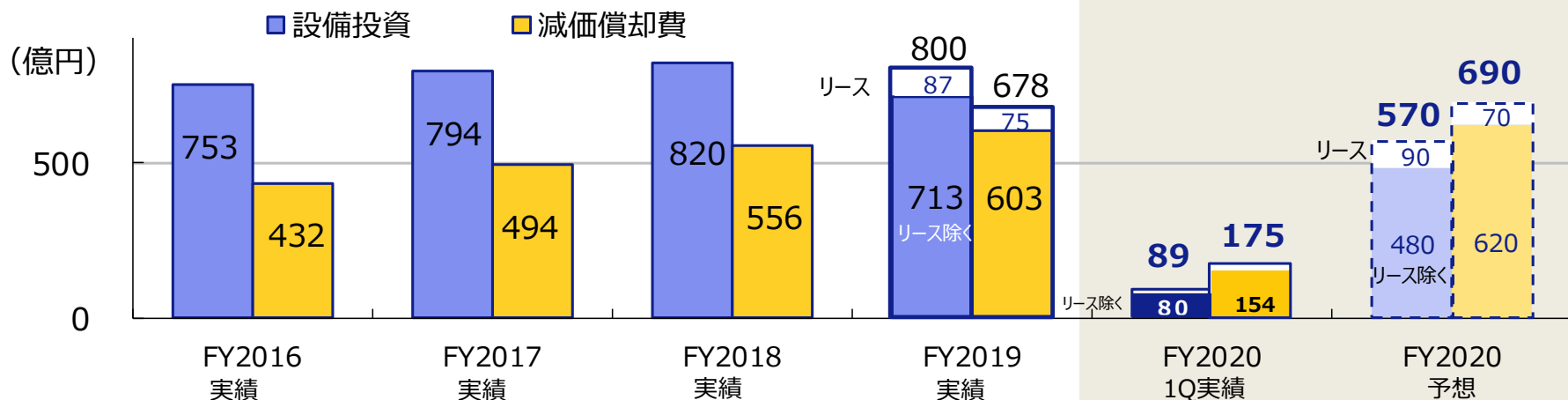
◆ ウェアラブル機器

- ウォッチで厳しい事業環境が継続
- ### ◆ ロボティクスソリューションズ
- 中国中心に堅調な需要が続く
- ### ◆ マイクロデバイス他
- 堅調な需要が続く

研究開発費



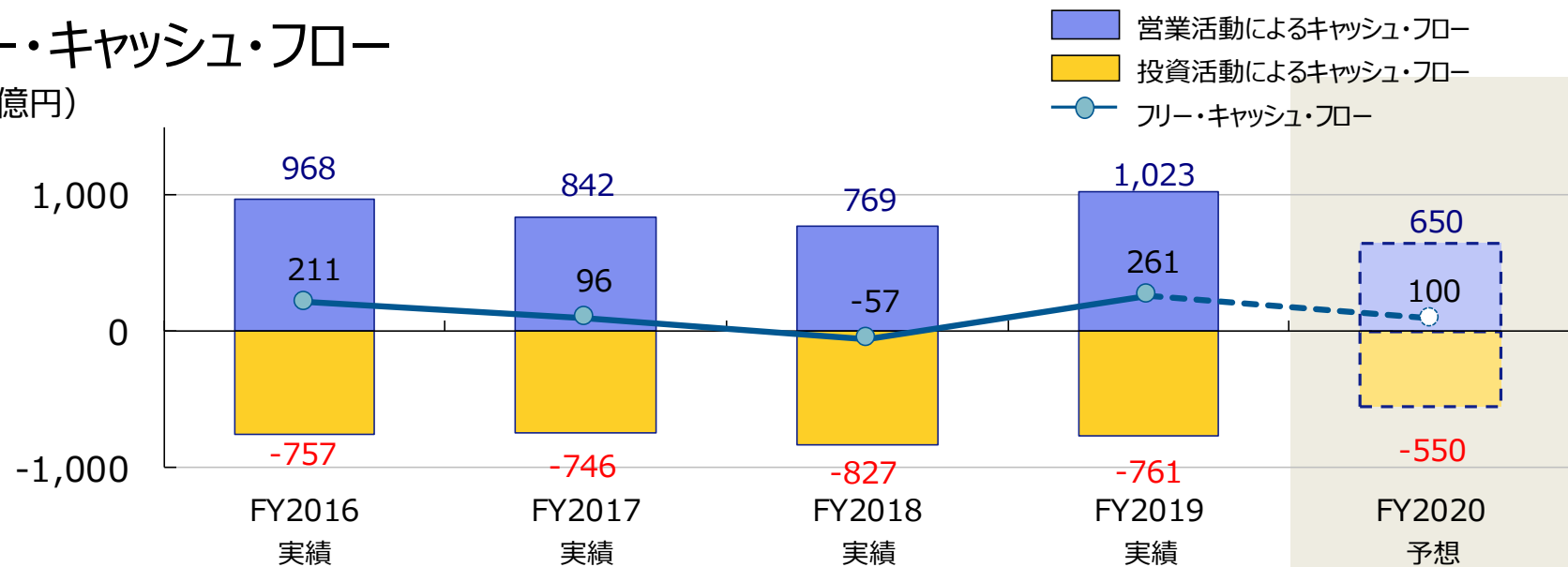
設備投資・減価償却費



	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
プリンティングソリューションズ	44	96	280	380
ビジュアルコミュニケーション	20	31	100	130
ウェアラブル・産業プロダクツ	16	26	120	110
その他・全社費用	7	21	70	70

FY2019実績からリースを含む

フリー・キャッシュ・フロー (億円)



主な経営指標

(%)	FY2016 実績	FY2017 実績	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 予想
ROS 売上収益 事業利益率	6.4	6.8	6.5	3.9	2.2
ROA 資産合計 事業利益率	6.9	7.4	6.8	3.9	1.9
ROE 親会社所有者帰属持分 当期利益率	10.1	8.3	10.2	1.5	0.2

- ご説明のポイント
- 第1期四半期実績
- 2020年度通期業績予想
- **株主還元**
- ESGトピックス

■ 配当の基本方針

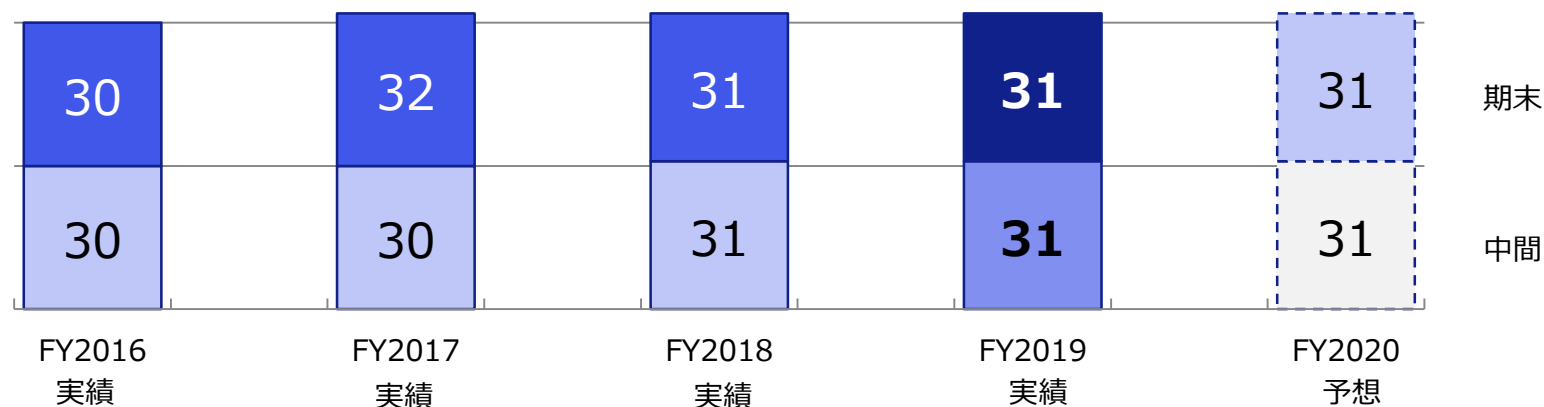
- 強固な財務構造の構築と、積極的な利益還元に並行して取り組む
- 中期的には連結配当性向40%程度を目標

■ 2020年度配当予想

- 2019年度と同額の1株当たり62円

■ 配当実績・予想

1株当たり配当金額の推移（円）



- ご説明のポイント
- 第1期四半期実績
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- ESGトピックス

■ 買収防衛策の廃止

■ 2019年度 取締役会実効性評価結果の公表

● 取締役会の実効性を高めるための「課題」は以下2点

- 経営戦略上の「リスク・機会」の整理・開示に関して更なる向上を図ること
- 事業ポートフォリオ管理の考え方の整理・開示に関して更なる向上を図ること

■ エプソン初のグリーンボンド発行（7月）

- 8つの適格プロジェクトを資金使途としたグリーンボンド発行(700億円)
- 75社より投資表明（一般事業法人のSDGs債市場、過去最大の件数*）

*2020年7月時点

EPSON
EXCEED YOUR VISION

補足資料

主要製品の販売動向

本資料は、エプソン内部の管理値に基づく指標です。伸長率はYoY

*1 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンター
I/Cモデル,RIPS,LIJの本体・インク、スマートチャージなどの課金や有償サービスを含む

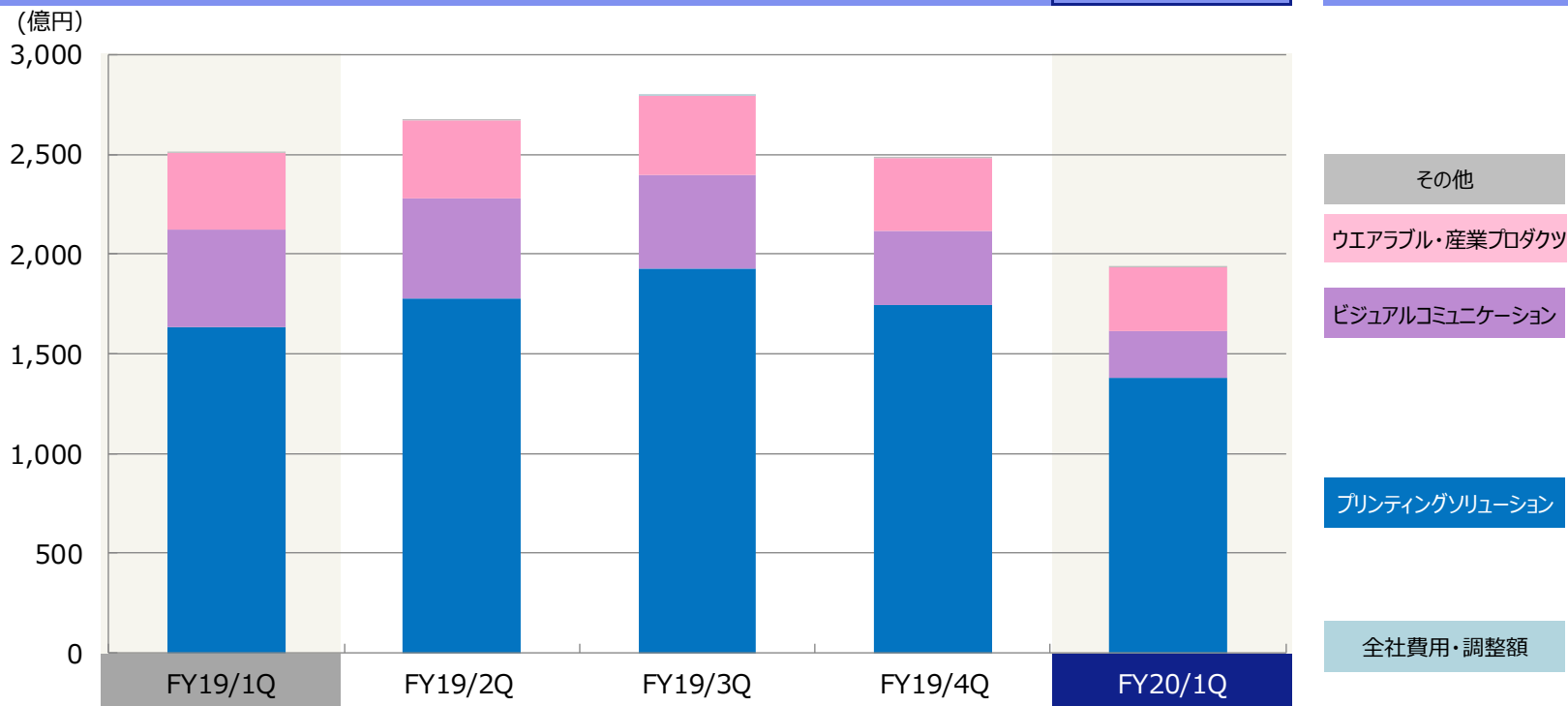
*2 FY20の商品区分変更に伴い、FY19を遡及修正

				FY2019 通期 実績	FY2020 1Q 実績	FY2020 通期 予想
			USD	108.74	107.54	106.00
			EUR	120.85	118.39	118.00
プリンティング ソリューションズ	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益（円貨）	伸長率	-0%	-14%	-0%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	+4%	-8%	-
		本体数量	伸長率	+1%	-17%	-6%
		本体数量	台数	約1,570万台	-	約1,470万台
		内 大容量インクタンクモデル	台数	約1,000万台	-	約960万台
		内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル	台数	約530万台	-	約480万台
		内 オフィス共有IJP	台数	約40万台	-	約30万台
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比	48%	-	48%
		売上収益（円貨）	伸長率	-8%	+15%	-0%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-5%	+19%	-
	オフィス共有 IJP*1 本体+インク	オフィス・ホームIJP内 売上収益比率*2	構成比	10%	9%	11%
	SIDM 本体	売上収益（円貨）	伸長率	-19%	-43%	-21%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-16%	-40%	-
本体数量		伸長率	-16%	-39%	-15%	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益（円貨）	伸長率	-9%	-52%	-27%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-6%	-50%	-
		本体数量	伸長率	-9%	-57%	-31%
		本体数量	台数	約240万台	-	約160万台

四半期 売上収益推移 | 事業セグメント別

為替レート (円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	-2.39
	EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	-5.15

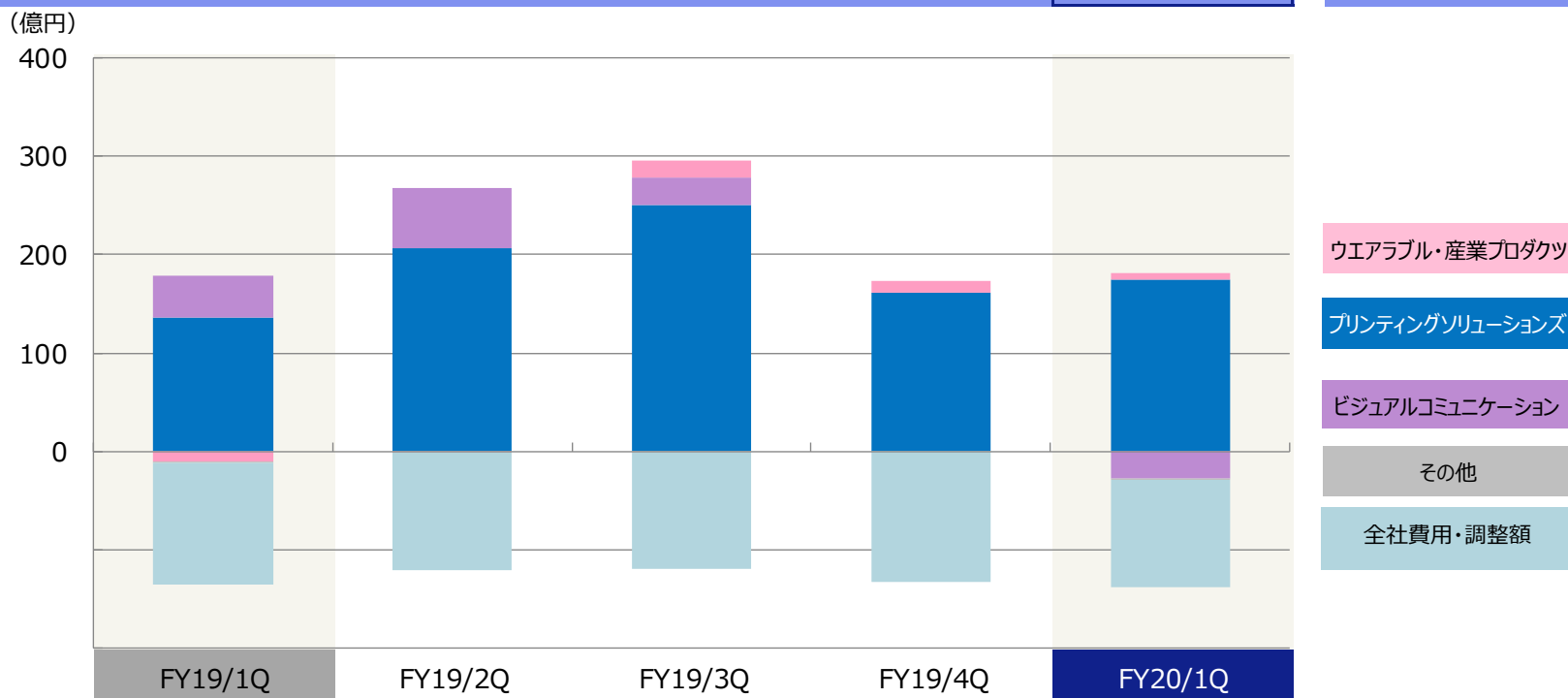
売上収益 (億円)	FY19/1Q	FY19/2Q	FY19/3Q	FY19/4Q	FY20/1Q	対前年同期
プリンティングソリューションズ	1,632	1,780	1,929	1,744	1,380	-251
ビジュアルコミュニケーション	492	496	468	375	235	-256
ウェアラブル・産業プロダクツ	381	393	394	360	318	-63
その他	2	2	2	2	1	-0
全社費用・調整額	-11	-7	3	-6	-3	+7
連結合計	2,496	2,664	2,798	2,476	1,932	-564



四半期 事業利益推移 | 事業セグメント別

為替レート (円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	-2.39
	EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	-5.15

事業利益 (億円)	FY19/1Q	FY19/2Q	FY19/3Q	FY19/4Q	FY20/1Q	対前年同期
プリンティングソリューションズ	136	207	250	162	175	+38
ビジュアルコミュニケーション	43	61	29	0	-27	-71
ウェアラブル・産業プロダクツ	-10	-0	17	11	6	+16
その他	-2	-1	-1	-0	-2	-0
全社費用・調整額	-123	-120	-118	-133	-109	+14
連結合計	45	146	176	40	43	-1



海外売上収益・従業員数

海外売上収益

為替レート (円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	-2.39
	EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	-5.15

売上収益 (億円)	FY19/1Q	FY19/2Q	FY19/3Q	FY19/4Q	FY20/1Q	対前年同期
米州	745	717	712	753	598	-147
欧州	479	537	593	529	397	-81
アジア・オセアニア	725	758	744	585	495	-230
海外売上収益計	1,951	2,014	2,051	1,869	1,490	-460
連結合計	2,496	2,664	2,798	2,476	1,932	-564

構成比	FY19/1Q	FY19/2Q	FY19/3Q	FY19/4Q	FY20/1Q
米州	29.9%	26.9%	25.5%	30.4%	31.0%
欧州	19.2%	20.2%	21.2%	21.4%	20.6%
アジア・オセアニア	29.1%	28.5%	26.6%	23.7%	25.6%
海外売上収益計	78.2%	75.6%	73.3%	75.5%	77.2%

従業員数

期末従業員数 (人)	2018/3末	2018/6末	2019/3末	2019/6末	2020/3末	2020/6末	対前期末
国内	19,436	19,704	19,456	19,879	19,558	19,962	+404
海外	56,955	61,196	57,191	58,918	56,050	57,107	+1,057
連結合計	76,391	80,900	76,647	78,797	75,608	77,069	+1,461

主な業績指標

		(億円)			
	項目	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 予想	FY2021 第2期 中計目標
為替レート	USD	110.86	108.74	106.00	110.00
(円)	EUR	128.40	120.85	118.00	125.00
プリンティング	売上収益	7,236	7,086	6,550	7,800
ソリューションズ	セグメント利益	945	756	710	-
ビジュアル	売上収益	2,033	1,833	1,340	2,250
コミュニケーション	セグメント利益	212	135	-50	-
ウェアラブル・	売上収益	1,634	1,529	1,400	1,950
産業プロダクト	セグメント利益	55	18	20	-
その他	売上収益	9	9	10	-
	セグメント利益	-5	-5	-10	-
全社・調整額	売上収益	-16	-22	0	-
	セグメント利益	-502	-496	-470	-
連結合計	売上収益	10,896	10,436	9,300	12,000
	事業利益	704	408	200	960
	ROS	6.5%	3.9%	2.2%	8%
	ROE	10.2%	1.5%	0.2%	継続的に 10%以上

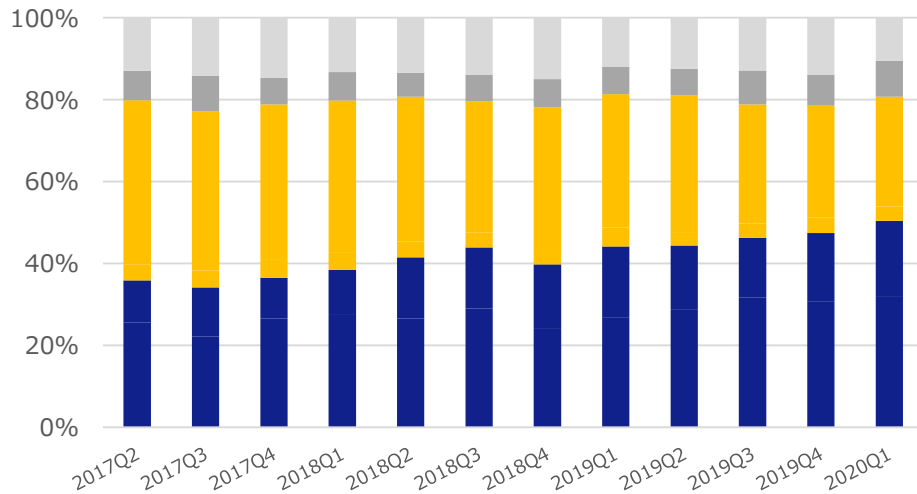
		(億円)			
	項目	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 予想	Epson 25 第2期3年累計 目標
	USD	110.86	108.74	106.00	110.00
	EUR	128.40	120.85	118.00	125.00
	営業CF	769	1,023	650	3,700程度
	FCF	-57	261	100	1,700程度
	研究開発費	582	492	480	積極的に投下
	設備投資	820	713	480	2,000程度
			800*	570*	

*オペレーティングリース含む

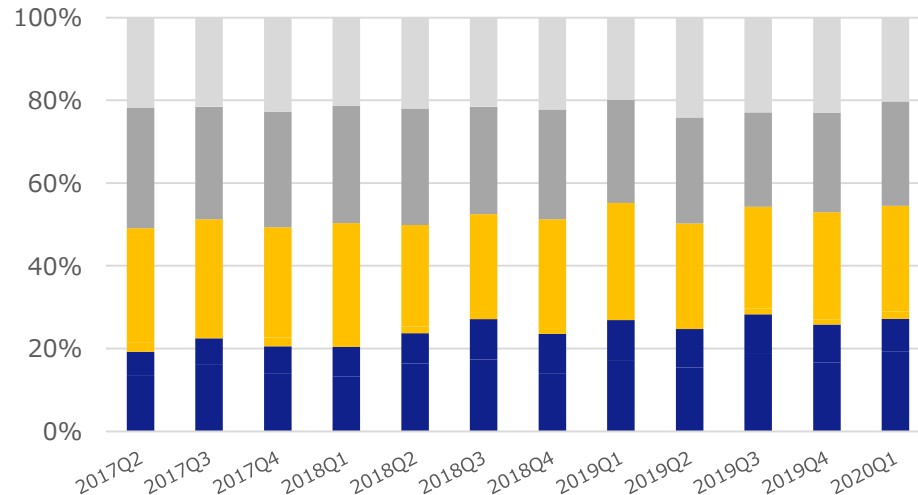
大容量インクタンクモデルの浸透（数量構成比）

A4サイズプリンタータイプ別市場推移（暦年）

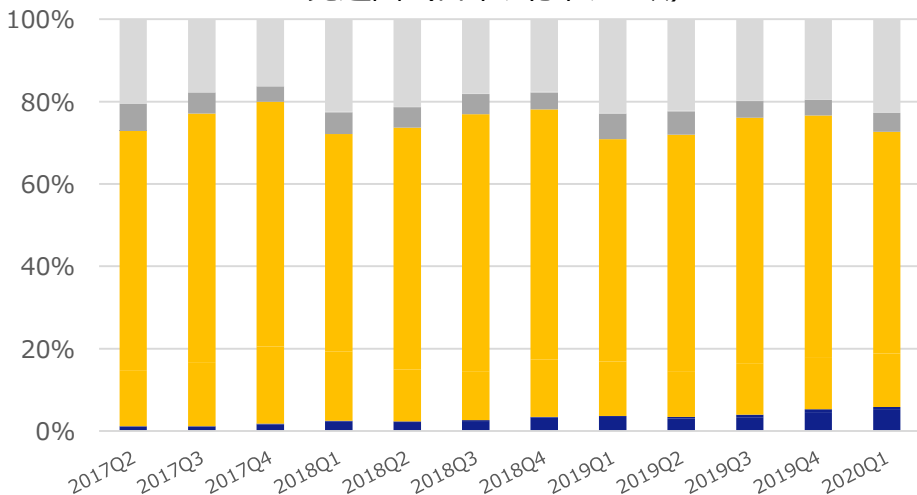
中南米



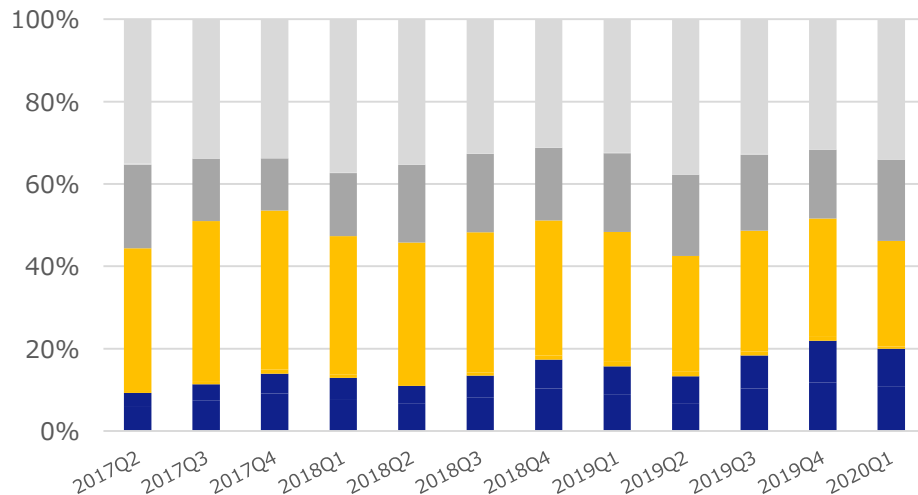
アジア・パシフィック



先進国（日本、北米、西欧）



東欧・中東・アフリカ



■ インクタンクプリンター ■ インクカートリッジプリンター
■ レーザープリンター(1-20ppm) ■ レーザープリンター(21ppm以上)

Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2020Q1
プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
Epson Connect	エプソンの商品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター（複合機含む）
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printers
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	商品カテゴリの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
フォト	フォト、グラフィックス、プルーフ、CAD印刷向け大判プリンターなどが含まれる
商業・産業IJP	商品カテゴリの1つ。商業・産業用途向け大判インクジェットプリンター
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクカートリッジモデル、大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル（RIPS）、高速ラインインクジェット（LIJ）の総称
分散印刷	同一内容の印刷物を複数のプリンターを用いて印刷する方法
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
OLED	Organic Light Emitting Diode（有機EL）
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

イノベーション

インクジェットイノベーション

ビジュアル
イノベーション

ウェアラブル
イノベーション

ロボティクス
イノベーション

セグメント

プリンティングソリューションズ

ビジュアル
コミュニケーション

ウェアラブル・産業プロダクト

オフィス・ホームIJP

プリンター

大容量インクタンクモデル



オフィス共有



SOHO・ホーム



SIDM



PaperLab



スキャナー



レーザープリンター

プロフェッショナルプリンティング

商業・産業IJP



フォト

サインージ

テキスタイル

ラベル

ヘッド外販

小型
プリンター他

PC他



エプソンダイレクトPC

事業
・
主要製品

プロジェクター



高光束



超短焦点



スタンダード・ホーム



小型

ライティング



スマートグラス

ウェアラブル機器

エプソンブランド



TRUME



オリエント

ムーブメント



セイコービジネス



ロボティクス
ソリューションズ

ロボット



スカラ



6軸



自律型双腕ロボット

ICハンダー



オプション



マイクロ
デバイス他

マイクロデバイス



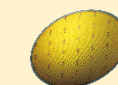
水晶



半導体



微細合金粉末



表面処理加工

EPSON
EXCEED YOUR VISION